

アンケート報告会 & 第 1 回意見交換会

- 2018 年(平成 30 年)10 月 27 日(土)午前 9:30～12:00 市役所 7 階 701 会議室
- 参加者 68 名(住民 58 名 市職員 7 名 伊丹市社会福祉協議会 3 名)
- 当日の流れ ①開会 ②アンケート結果報告会 ③グループ別意見交換会
④意見交換会結果の発表 ⑤閉会・今後の予定

稲野小学校区での地域ビジョン作成に向けた取組みが本格的にスタート。今回、先に実施されたアンケート調査結果の報告会と第 1 回意見交換会が行われ、58 名の地域住民が市役所に集まりました。

岩田会長のあいさつから始まり、8～9 月に実施されたアンケート結果の報告、6 グループにわかれてワークショップ形式での意見交換、そしてその結果の発表、共有とつづきました。

意見交換会では、現在の地域のよいところと課題、今後の取組みアイデアなどをふせんを使って、出し合い、「健康福祉」「環境」「防犯・防災」「地域の活性化」「子どもの健全育成」「地域拠点」「地域自治活動への参加・組織」「その他」の 8 つにわけて整理しました。当日のアンケートでは、「さまざまな意見が聞けてよかった」との感想もあり、活発な意見交換会となりました。

最後には、大塚副会長からビジョンづくりに向けた今後の展開への想いが語られました。
アンケート結果や各グループの意見については、次のページ以降をご覧ください。

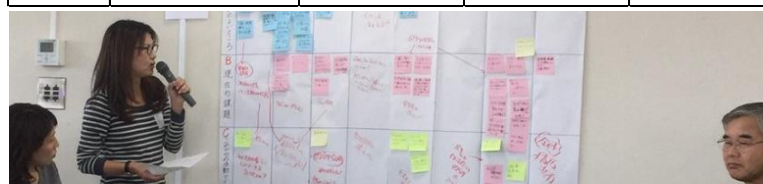




A

A	①健康福祉	②環境	③防犯防災	④地域の活性化	⑤子供の健全育成	⑥地域拠点	⑦地域自治活動への参加・組織	⑧その他
A 現在の良いところ	・100歳体操、歩こう会など介護予防の会が開催されている ・サロン活動や映画会が活発 ・平坦な地域なので見守りが楽	・ゴミの管理が出来ている ・公園がきれいに掃除されている ・公共施設が多く病院も近い ・買い物に便利	・防犯カメラ、ミマモルメが整備されている ・下校の見守りをしてもらっている ・自治会の防災活動がしっかりしている		・公園が各所にあり便利 ・子育て世代が多い	・共同利用施設が良く管理されている	・近所のつながりがあり温かい ・小グループでゴミ出し等のルールにも協力的	
B 現在の課題		・ゴミの出し方、時間が守られていない(マナー) ・落ち葉(千僧駐屯地) ・倒木類の処理方法が分からない	・訓練参加者が少ない ・自転車のマナー(駐輪含む) ・道が狭い割に交通量が多い ・昆陽池公園前は自転車の信号無視が多い ・タバコのポイ捨て		・若い人の参加 ・子供が遊べる公園(ボール遊び)		・新しいマンションの自治会への加入が進んでいない ・高齢者が多く自治会活動が負担になっている ・子供会活動が難しい(加入者の減少) ・役員の負担が大きい(自治会、PTA)	・三世交代事業の広報が難しい
C これから活動アイデア	・子供110番の家の表示は子供だけではなく非常を有する人も活用できるようにあらためる	・街路樹の剪定時期をずらすなど見直して欲しい	・災害時に要援護者をどのように安全に導くかのマニュアルが必要 ・台風通過時に自主的に避難する場所に困った。(スワンホール) ・停電した際の相談場所もわからなかった					

B	①健康福祉	②環境	③防犯防災	④地域の活性化	⑤子供の健全育成	⑥地域拠点	⑦地域自治活動への参加・組織	⑧その他
A 現在の良いところ	・地域の高齢者が歩こう会を実施 ・役所・買い物等が利便性が良い ・公園に健康促進遊具を設置 ・自治会等で美化に努めている	・昆陽池、公共施設など利便性が良く交通の便も良い ・水害が少ない地域 ・ポイ捨て防止を自治会で毎月自治会で実施	・毎日の夜間パトロール(千僧) ・地震の時に独居老人宅を近所の人が訪問してくれた	・伊丹グリーンジャムなど若い世代が楽しめるイベントが増えている ・いいイベントが多い	・公民館が子供の居場所になっている ・少子高齢化と言われるが堂の前公園は子供の賑やかな声が聞かれ、地域の活性が感じられる	・公民館をグループ活動に利用している	・自治会活動が活発	
B 現在の課題	・公園の健康促進遊具の利用促進 ・お助け隊の活動の仕方	・ゴミ出しの規則が守られていない ・昆陽池の樹木の落葉が屋根に落ちてくる ・カラス ・たばこのポイ捨て	・台風の時などに家に居るのが不安な時に集まる場所が欲しい ・隣近所のつながりが希薄になっている ・防災放送がきこえにくい ・防災意識が低い(訓練参加者が少ない)	・どこかに所属していないと参加できない(知らない)	・公園に草が伸び放題になっている ・子供見守り隊に参加する人が減っている ・継続する作業を伴う企画は困難 ・夏の晩に堂の前公園に中学生がたむろしている		・参加メンバーが限られている ・自治会に入る人が少ない ・若い世代の加入が進まず役員の負担が大きい ・自治会活動が負担の声 ・生活に関係がない回覧が多い	・図書館の蔵書数が少ない
C これから活動アイデア	・朝の公園で太極拳などをして欲しい ・みんなが集うことのできる方法を考える		・情報を全ての住民の方に伝える ・組織として役割分担の再定義 ・顔の見えるつきあい ・外灯を増やす	・参加方法の簡素化	・体育館を気軽に利用できるようにする ・ボールを使える場所を増やす ・子供に企画運営をさせて役員の大人がフォローする		・校区の集まり ・地域の掲示板の活用 ・民生児童委員と自治会の役割の確認(できるときにできることを) ・自治会活動にポイントを点けて参加者にメリットを	

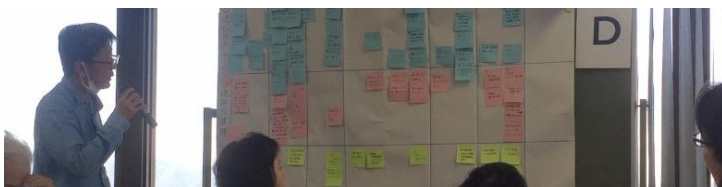


B



C

C	①健康福祉	②環境	③防犯防災	④地域の活性化	⑤子供の健全育成	⑥地域拠点	⑦地域自治活動への参加・組織	⑧その他
A 現在の 良いところ	・活動が充実 (高齢者のサ ロン、SC21、グ ランドゴルフ、 100歳体操)	・住みやすい (昆陽池などの自 然、買い物、公共 施設、静か)	・安全安心な生活 (自転車レーン、防犯カメ ラの設置)	・歴史 (西国街道) ・祭り (秋祭り)	・広場があり子育て には良い	・利用施設があり 便利 ・スワンホールで パソコンが触れた り自習室がある のは便利	・自治会のメン バーが協力的	
B 現在の 課題	・医療機関が 充実している (その一方で 「××科」に偏 りがある)	・近くに公園が少 ない ・広い公園が必要 ・防犯カメラの充 実 ・カラスが多い	・災害 (防災訓練の参加は高齢 者が多い。スワンホール の災害時の使用方法の 想定) ・交通安全 (住友北門あたりが危な い。歩道に通勤通学の自 転車) ・災害時の各自治会の伝 達、協力体制	・近所付き合い ・水道水の水質	・子供たちがボール で遊ぶ場所がない ・子供の通学路に植 え込みが伸びている ことが多く危険 ・見守り隊の人員不 足 ・親子で参加できるイ ベントが少ない(三世 代)	・スワンホールが 中央公民館と一 緒になったら宿泊 室は残して欲しい	・活動内容やボ リュームが負担 ・高齢化により参 加人数の減少 ・自治会加入者 の減少(引越越 てきても自治会に 加入しない)	・バス停に椅子 がない ・交通の便(空 港・西宮北口へ の)が悪い ・ニーズに地域 差がある ・昆虫館の出入 口を増やして欲 しい
C これから の活動アイ デア	・スポーツイベ ントを増やす	・ポイ捨て防止 キャンペーンを年 2回に増やす	・災害時のマニュアルを作 る		・新しいスポーツのアイ デア(サッカーはあ るがラグビーはない)	・公共施設の利 用法の再検討 (スワンホール、 まちづくりプラザ、 助けあいセン ター、アイ愛セン ター等	・人材発掘 (地域のボラン ティアの発掘、若 い世代の加入、 参加ポイントを付 与して若者に地 域の催しの準備 を手伝ってもら う) ・子供高齢者の 憩いの場づくり	
D	①健康福祉	②環境	③防犯防災	④地域の活性化	⑤子供の健全育成	⑥地域拠点	⑦地域自治活動への参加・組織	⑧その他
A 現在の 良いところ	・市バスの高齢者 向けの無料バス が良い ・地域包括支援セ ンターが近くて安 心 ・子供急病セン ターが近い	・昆陽池など自然に近い ・スーパーが多い ・西国街道などの歴史遺 産 ・ウォーキングが楽しい ・交通の便が良い	・市役所、警察 署、消防署があり 安全安心 ・災害に強い ・犯罪件数が少な い ・防災センターに 近く安心	・夏祭りがある	・子供110番 ・土曜学習がある ・子供や高齢者の 見守りが充実して いる ・少年野球の子供 たちなど元気が良 く挨拶も出来てい る	・昆陽セン ター、助け あいセン ター等地域 交流ス ペースが ある ・公共施設 が近い	・校区内の各組織、自治会、 民生児童、SC21、学校等の連 携が出来ている ・子供会、自治会活動が盛ん	
B 現在の 課題	・独居高齢者が 増加 ・市民病院は近く にあるが医院が 遠くて不便	・移動スーパーが来て欲 しい ・西国街道が狭くて交通量 が多いため登下校が危険 ・まるちゅうの前の歩道凸 凹 ・渋滞が多く、通勤時間帯 には大きな幹線道路の抜 け道になっている	・自転車が多くマ ナーが悪い	・祭りのだんじり の担い手がい なくなった	・自治会、子供会へ の入会が少ない ・見守り隊の方々の 高齢化	・図書館が 校区になく なった	・自治会の未加入、脱会 ・若い男性の活動が低調で地 域の担い手が不足 ・自治会が大きく3小学校に分 かれていて ・地域拠点のイベント予定が 分らない	
C これから の活動アイ デア	・昆陽池公園を活 かした健康づくり のメニュー ・お医者さんにも 地域の集まりに 参加してもらい 馴染みの関係を作 る	・道路を規制する ・一方通行の導入 ・通学時間帯の通行禁止	・自転車マナー講 習を幼稚園から 小中高とし、大人 も受講する ・自転車専用道 をもっと充実させる	・地域の歴史を みんなで共有 する ・自衛隊、大手 企業(住友)の 空地を活かした 地域交流	・ミマモルメの台数 を増やす	・市役所新 庁舎を活 かした全 市的な自 治組織間 の交流	・世代間交流が出来るイベント ・自治会、子供会への強制加 入 ・夏祭り等で若いお父さんに ピラを配り声を掛ける ・自治会員(各種の会員制度 を導入)PDCA実施	



D



E	①健康福祉	②環境	③防犯防災	④地域の活性化	⑤子供の健全育成	⑥地域拠点	⑦地域自治活動への参加・組織	⑧その他
A 現在の良いところ	・病院に近い(市民病院、子供急病センター)	・昆陽池公園がある ・買い物に便利 ・行政機関に近い	・SC21、見守り隊等のPTA、地域の支援がある ・市内一斉パトロール ・ミマモルメの設置	・夏祭り、文化祭などに地域のバックアップがある ・住友電工が地域の住民も参加できるイベントを行っていて楽しみ	・土曜学習の充実(コーディネーター、ボランティア、社会教育課) ・SC21で子供がスポーツが出来る	・中央公民館のロビーで子供達が宿題などをしている ・スワンホール、助けあいセンター等の拠点がある	・古くからお住まいの方が多く、加入率や参加率が高い ・歴史のある町で自治会組織がしっかりしている	
B 現在の課題	・子供の医療費(中学卒業まで医療費の免除があれば)	・マナー(自転車、ポイ捨て) ・県道142号線も国道と同じ速度制限(50KM)で危険 ・動物(捨て猫、ハト、カラス)	・通学路(自転車が多い、西国街道は狭い、歩道橋が古くて滑りやすい) ・子供見守り隊の高齢化 ・緊急避難先の昆陽池センターは夜間は閉鎖されている	・自治会員の高齢化 ・地域活動を支える若者や企業が少ない ・老人会の活動も会員は多いが行事の参加者は少ない ・休憩できる場所(ベンチ)が少ない ・若い世代にアピール	・軽く運動できる、ボール遊びができる場所が少ない ・新しいマンション建設により児童クラブ、預かり保育の需要が増加している	・まちプラを市民、市外の人も自由に使える施設に戻して欲しい(以前のようなお茶会のできる場所に) ・地域拠点施設の老朽化	・自治会役員の負担(会議回数・時間帯・時間が長い) ・学校運営協議会への参画(時間的負担) ・夏祭りのPTA・自治会のバランスの再検討	・児童公園で遊ぶ子供の数に場所によるバラツキが多い
C これからの活動アイデア	・公園に健康遊具を設置する ・定期健診、予防接種の受診率アップ(集会場等で集団受診)	・企業と一緒にゴミを拾う	・見守り隊の方々への謝礼 ・「パトロール中」グッズの配布(見守り隊に参加しなくても見守りに参加)	・ベンチの数を増やす ・音楽イベントと連携して地域の情報を発信 ・ふるさと納税を地域活性化の資金に充てる ・夏祭りのテントの設営の中学生のエリア拡大	・児童クラブ以外の子供の居場所が必要 ・子供食堂の充実(勉強を教えてもらう) ・放課後に学校で遊ぶために自転車移動の許可(見守りの反動)	・中学生が小学生に勉強を教える場所の提供 ・未就学児が親子で立ち寄れて交流できる場所の新設		

F	①健康福祉	②環境	③防犯防災	④地域の活性化	⑤子供の健全育成	⑥地域拠点	⑦地域自治活動への参加・組織	⑧その他
A 現在の良いところ	・静かで住みやすい	・住環境が良い(自然が多い、公共施設、交通が便利、買い物に便利)	・警察署が近くパトカーが多く走っているので安心 ・公的な機関が多い	・地域の方々がよく挨拶してくれる ・手芸など得意なことを人に提供している ・夏祭り、文化祭等の行事があり賑やか	・地域の教育力が高い(見守り・子供を大切にしている、家庭と地域の教育力) ・老人会も子供の健全育成に取り組んでいる	・助けあいセンターでおしゃべりできる	・自治会のつながりが強い ・面談のいい役員さんが居られる	
B 現在の課題	・福祉、見守り等、少し取り組みが薄い(意識の希薄化)	・ゴミステーションの整備 ・自転車レーンの整備や自転車のマナー ・歩きたばこ(バイクや自転車に乗っての喫煙も) ・交通量の多い道路が多い、道が狭い	・外灯が少なく暗い道がある		・子育て世代が忙しい ・全国の調査から見ても中学生が地域との関わりが薄い ・学校と地域との連携が難しい(学校運営委員会の在り方)	・センターに空室など地域の社会資源が有効に活用されていない ・地域拠点を管理する人が高齢化している	・自治会未加入者の増加 ・活動者の固定化 ・要望(必要性)と担い手のミスマッチ(子供の見守りは必要とする人と担い手)	・外の地域から来て住みやすいと思っていたのか?
C これからの活動アイデア	・健康づくりのために地域内でスポーツの取り組みを行う		・交通ルール、マナーを子供の頃から学習する	・バーベキューできる施設を市内に	・小学校高学年の子供達が遊べる公共施設があれば ・こども食堂な地域で取り組む「食堂」が必要 ・子供達に〇〇やってみてという機会づくり(大人はサポート)	・地域拠点を使いやすい ・身近なところに地域のオープンな拠り所をつくる	・老人会への加入 ・自治会に入っていないでも使える(参加できる)しくみ ・して欲しいことではなく出来ることを考える	・住民が参加しやすい場所づくり(役所の7Fは?) ・意見交換会は固い

